

令和二年<sup>2020</sup>七月開催豫定の東京オリンピック、パラリンピックの準備も終盤を迎ふる中、國際オリンピック委員會 IOC は突如マラソン及び競歩の二種目に就き、競技場を東京より札幌に変更すと発表す。理由は過ぐる九月炎熱のカタール首都ドーハにて行はれたる世界陸上選手権大會にて、競歩の選手多数が炎暑のため途中棄権せるありて、東京の猛暑は避くべしとの事なり。

テレビ 電視情報より他には何の消息も得ざる立場なれば、競技場の位置に就き、東京か札幌かの議論はさて置き、一聯の動靜に就き感想を述べむ。我が國にては全般的に、炎熱の甲子園などと言ひて、眞夏の運動競技の暑さに對する安全の考慮今一つの感あり。我も中學生の頃、眞夏の校庭にて校長先生の訓示を直立して伺ひけるを想起す。然れども地球温暖化劇しく、最近の猛暑漸く人心に響き始め、五輪マラソン、競歩の暑さ對策も諸處に考慮對策進みつゝあれども、ドーハの問題我が事と考ふる妙きにや、外國人の指摘に驚きもて騒ぐこそ悲しけれ。

茲にこの問題を IOC なる國際組織への日本側當事者の對應といふ視點に於て見る時、興味を誘ふものあり。スポーツほどの種目にも世界共通の規約ありて、その評價も世界共通性を擔保し得とて、特に明治二十九年<sup>1896</sup>第一回近代オリンピック以來、當に二十世紀の主要思潮たりし地球一極主義の旗手と目されて久し。ことオリンピックに關する限り、IOC の決定は絶対とせられ、IOC の擔當理事は「既に札幌への變更は IOC の決定事項なり」とて、反論を受附けざりけるは電視を通じて博く巷間に傳へられ、且つ反論は殆ど皆無なり。

但し競技會場の決定權は IOC にありとても、一般的には開催都市の決定を承認すとの解釋を妥當とせば、今回の事例は日本側より札幌への變更を IOC が承認するを以て圓滿解決となるべし。若し變更自體日本側にその意思無ければドーハ後直ちに科學的檢討結果を踏へてその旨博く表明すべく、少くともこの件に關する有識者の意見を紹介するなど、大衆報道に關心あらましかば、東京都民の理解も得られなまし。此度のドーハにては男子 50 km 及び女子 20 km 競歩に於て鈴木雄介、山西利和兩選手による夫々金メダル獲得の吉報あり。折角の快擧が、會場變更なる津波的事態に忘らるゝ事無きを望む。

一方香港にては連日反政府示威運動が行はれ、これを取締るべく、官憲による個人特定を防ぐための覆面マスクの着用を禁止す。反政府側これを違憲として提訴、違憲判決を勝取る。然るに大陸中國より香港の裁判所に憲法違反を審理する權限なしと聲明、覆面用マスク再度禁止となる。これも地球一極主義的處理、即ち「遠くの最高權力者」による裁定の一例ならずや。

また英國にては遂に EU よりの離脱を巡る總選舉の實施決定す。離脱確定せば、トランプ大統領率ゐる米國と共に反地球一極主義の一大勢力の誕生となり、依然地球一極主義を標榜する中露を中心とする勢力との競合の開始とならむ。茲に於て我が日本が何れに與するか、將た又日本の傳統たる海外文化の受容に於ける多様性主張を通して、獨自の新思想を開發して、その路線を貫き得るか、正念場を迎へたりと言ふべし。

